

Resona Premium Meeting りそな株主セミナー

**参加費
無料**

りそなグループでは、日頃ご支援いただいている株主さまを対象に、下記のとおりセミナーを開催いたします。応募多数の場合は**抽選**とさせていただきます。

～りそなグループ各銀行の社長が今後の戦略について語ります～

[大阪] 300名程度
2015年2月9日(月)
13:00～15:30
会場:りそな大阪本社ビル

松永 真理 氏
りそなホールディングス 社長
りそな銀行 社長
近畿大阪銀行 社長
東 和浩 氏
中前 公志 氏

[埼玉] 150名程度
2015年2月17日(火)
14:30～17:00
会場:ホテルプリランテ武蔵野

野中 ともよ 氏
りそなホールディングス 社長
りそな銀行 社長
埼玉りそな銀行 社長
東 和浩 氏
池田 一義 氏

[東京] 350名程度
2015年2月28日(土)
13:00～15:30
会場:イイノホール

野中 ともよ 氏
りそなホールディングス 社長
りそな銀行 社長
東 和浩 氏

Profile



テルモ株式会社取締役
松永真理事務所 代表
松永真理氏



NPO法人
ガイア・イニシアティブ 代表
野中ともよ氏



第14期 りそなグループ 中間報告書 (2014年4月1日～2014年9月30日)

第1部 マーケットセミナー「国内外の景気動向とマーケット情報」 第2部 トップが語るこれからの「りそな」

募集対象 2014年9月末時点で当社株式をお持ちのお客さま(ご同伴は1名さままで可)

応募方法 ①WEBでのお申込み 締切日:12月29日(月)
<http://www.resona-gr.co.jp/holdings/investors/kabu/seminar/>

②はがきでのお申込み 締切日:12月26日(金)消印有効

1. 抽選の結果は、案内状の発送を持って代えさせていただきます。電話等による当選結果のご連絡はしていませんので、ご了承ください。尚、案内状は2015年1月中旬までにお送り致します。
2. 開催場所までの往復の交通費は各自でご負担いただけます。(駐車場の用意はいたしておりませんので、お車までのご来場はご遠慮ください。)
3. やむを得ない理由で中止や内容変更となる場合がございます。

お問い合わせ先

りそな株主セミナー
専用フリーダイヤル
0120-13-1036

通話料無料

受付期間:
2014年12月8日(月)～2014年12月29日(月)
受付時間:
土・日・祝を除く9:00～17:00

この報告書は、環境に配慮した用紙・インキを使用しています。



名称 株式会社 **りそなホールディングス** 証券コード 8308
(英文名称 Resona Holdings, Inc.)

所在地 東京本社 〒135-8582 東京都江東区木場一丁目5番65号 電話(03)6704-3111(代表)
大阪本社 〒540-8608 大阪市中央区備後町二丁目2番1号 電話(06)6268-7400(代表)



株式会社 **りそなホールディングス**

RESONA

INDEX

経営理念.....2
ごあいさつ.....3
トップインタビュー.....4
りそなグループの業績.....10
頼りになりますね「りそな」
「ネット」でも「リアル」でもいつでもどこでもサポート...14
りそな独自の商品・サービスをご提供.....16
中小企業の販路拡大や海外進出をサポート.....18
持続可能な社会づくりへの貢献.....20
財務諸表(連結).....22
3行の概況/株式の状況.....24
株式事務のご案内/個人情報のお取扱い.....26
りそな株主セミナー開催のお知らせ.....裏表紙

りそなグループ経営理念

りそなグループは、創造性に富んだ金融サービス企業を目指し、

お客さまの信頼に応えます。

変革に挑戦します。

透明な経営に努めます。

地域社会とともに発展します。

りそなWAY

(りそなグループ行動宣言)

お客さま

「りそな」はお客さまとの信頼関係を大切にします

株主

「りそな」は株主との関係を大切にします

社会

「りそな」は社会とのつながりを大切にします

従業員

「りそな」は従業員の人間性を大切にします

「ごあいさつ」

金融サービス業として さらなる進化に向けた改革を 加速させてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当中間期は、景況感の回復基調を背景に中小企業のお取引先の間でも設備投資に対する前向きな姿勢が見られた一方で、急速な円安進行に伴う原材料費の高騰、消費増税後の駆け込み需要の反動減など懸念すべき要素も混在する経済情勢でした。

こうしたなか、りそなグループの連結中間純利益は、保険販売が好調であったこと、お取引先企業の業況改善が進み与信費用が戻り益となったことなどを主たる要因として、前年同期比で106億円、期初予想を587億円上回る1,327億円を計上することができました。また、不良債権比率は1.60%、前期末比で0.14ポイントの改善、自己資本比率は13.71%と引き続き健全な財務体質を維持しています。

昨今、スマートフォンやSNSの浸透により消費者行動の多様化が急速に進んでおり、お客さまが求める銀行取引の在り方も大きく変化していくことが予想されます。りそなグループではインターネットバンキングなどの「ネット」チャンネルと店舗などの「リアル」チャンネルを融合し、「いつでも」「どこでも」最適なサービスをご利用頂ける「オムニチャンネル化」を推進し、お客さまの様々な金融ニーズに積極的にお応え

株式会社りそなホールディングス
取締役兼代表執行役社長

東 和浩



してまいります。また、引き続き高い経済成長が見込まれるアジアでの海外進出サポートの強化を図るため、本年6月にカンボジア・パブリック銀行と11月にはミャンマー・アペックス銀行と業務提携を行いました。さらに今年度中を目途にベトナム・ホーチミン市に駐在員事務所の開設を予定しています。地場金融機関との提携ネットワークを含めたサポート拠点は13カ国・地域に及び、ほぼアジア全域をカバーしています。

公的資金につきましては、昨年5月に公表した「公的資金完済プラン」に基づき、本年7月に優先株式1,960億円(注入額ベース)を返済し、2003年7月に預金保険法に基づき注入いただいた公的資金(1兆9,600億円)を約11年かけ完済することができました。残る早期健全化法に基づく公的資金(1,280億円)につきましても引き続き早期返済に向け努力してまいります。

公的資金完済後の次の10年を見据え、金融サービス業として、さらなる進化に向けた改革を加速させるとともに、これからも透明性の高い経営を継続し、企業価値の最大化に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2014年12月

りそな Today

Q. 公的資金完済を目前に控え、今なすべきことは？



A. お客様や地域社会から頼りにされる存在になること、
お客様目線の改革を継続し、
りそなファンを増やしていくことです。

まず我々には、公的資金を早期に確実に完済するという責任があります。そのうえで、過去の失敗を二度と繰り返さないよう、また、公的資金の重みとご支援をいただいた国民の皆さまへの感謝の気持ちを決して忘れることなく、お客様や地域社会から頼りにされる存在になることが我々の責務だと思っています。

りそなグループはこれまで「待ち時間ゼロ運動」や「17時まで営業」など、銀行の常識を変える様々な改革に取り組んできました。公的資金完済を目前に控えた今だからこ

そ、改めてこの改革の精神である「りそなイズム」の原点に立ち返り、しっかりと承継し、さらに深化させていくことが重要だと考えています。常にお客様目線に立ちながら、お客様ニーズにスピーディに対応していくことで、新しい金融サービス業としてのビジネスモデルを構築し、一人でも多くのりそなファンを増やしていきたいと考えています。

公的資金完済プランの進捗状況

昨年5月に公表した「公的資金完済プラン」に基づき、本年7月に預金保険法に基づく優先株式1,960億円(注入額ベース)を完済しました。
残る早期健全化法に基づく優先株式1,280億円(注入額ベース)につきましても、可能な限り早期返済に努めてまいります。

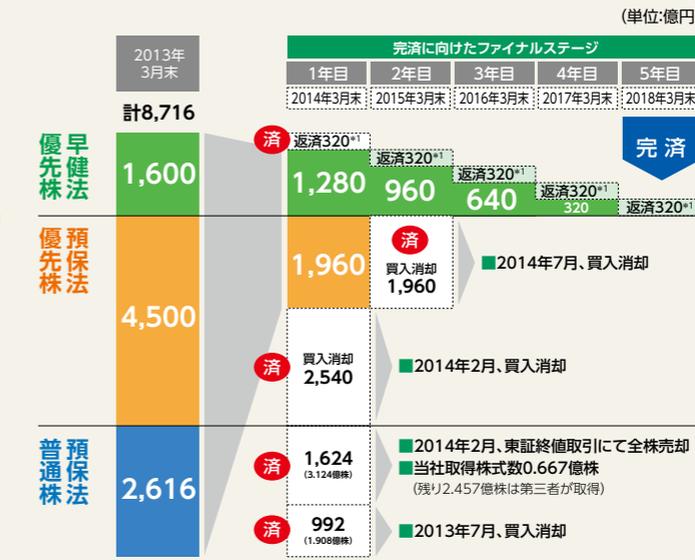
2003年7月に預金保険法に基づき注入いただいた公的資金(1兆9,600億円)を約11年かけ完済することができました。グループ役職員を代表して、公的資金によるご支援をいただいたことにつきまして、改めて国民の皆さま並びに関係者の皆さまに厚く御礼を申し上げます。

公的資金残高

3兆1,280億円



公的資金残高の推移(イメージ)



経営理念
「おんぎん」
「りそな」
「りそなグループの業績」
「りそな」
「頼りになりますね」
「財務諸表(連結)」
「3行の概況」
「株式の状況」
「株式事務のご案内」
「個人情報のお取り扱い」

Q. 次の10年に向けて、どのような銀行を目指していますか？



**A. 圧倒的に便利で、使いやすい
りそなに行けば、何でも相談できる
常に皆さまに必要とされ、頼りになる、
そんな金融サービス業を目指しています。**

圧倒的に便利で、使いやすい

りそなグループでは、「平日17時まで営業」「年中無休店舗」といった銀行の常識を変える改革を進めてまいりました。カスタマーセンターは5大銀行グループでは唯一、365日24時間有人で対応しています。

また、新たな取組みとして、**2015年4月からグループ銀行内で24時間365日いつでも振込み、即時決済を可能とする仕組みをスタート**する予定です。振込みの24時間化は、国内の大手銀行では初の取組みです。

こうした取組みは、すべて「お客様の喜び」を実現するために挑戦しているものです。今後も、いつでもどこでもお客様のお望みの機会に最適なサービスをご提供できる、「オムニチャネル化」を進めてまいります。

オムニチャネル化(イメージ)

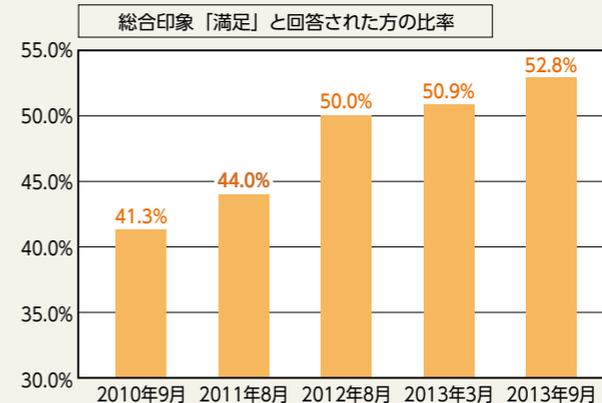


常に皆さまに必要とされ、頼りになる

便利な世の中であっても、りそなグループでは、人と人との繋がりを大切にしています。「りそなに相談して良かった。」「相談するならりそなだ。」全てのお客様にそう言っていただけるよう、人と人との結びつきがサービスの原点であることを肝に銘じ、「お客様の目線」「お客様中心に」考え行動することで、サービス向上に取り組んでいます。

こうした取組みを多くの方々々に評価いただき、2014年9月に公表された「日経 銀行リテール力調査」ではりそな銀行が第1位、埼玉りそな銀行、近畿大阪銀行もそれぞれ上位の評価をいただきました。

■お客様満足度調査結果
(りそな銀行で実施した郵送によるアンケート)



また、7月に行われた主要行のコールセンター調査においても、島根カスタマーセンターで対応しているコミュニケーションダイヤルがおかげさまでトップの評価をいただきました。引き続き、一層のサービスの質の向上、お客様満足度の向上に取り組んでまいります。

第10回 銀行リテール力調査 総合ランキング **第1位!!**

日本経済新聞社が全国117銀行を対象に毎年行っているリテール調査で、りそな銀行が第1位を獲得!
出典(日経ヴェリタス2014年9月28日付)

電話対応品質調査 **第1位!!**

りそなグループのカスタマーセンターは、大手金融機関を比較する外部モニタリング調査(2014年上期実施)で第1位を獲得!



りそなグループの業績 2014年9月中間期 ※金額については単位未満を切捨て表示しております。

連結中間純利益は、1,327億円となりました。

りそなグループ連結の中間純利益は、好調な保険販売・不動産仲介、与信費用の減少、および株式等関係損益の増加などから、前年同期比106億円の増益となりました。

損益の状況 (りそなホールディングス連結) (単位：億円)

| | 2012年9月期 | 2013年9月期 | 2014年9月期 | 前年同期比 |
|-------------|----------|----------|----------|-------|
| 連結粗利益 | 3,177 | 3,124 | 3,104 | △20 |
| 資金利益*1 | 2,230 | 2,153 | 2,101 | △51 |
| 信託報酬 | 106 | 118 | 112 | △6 |
| 役員取引等利益*2 | 613 | 706 | 725 | +19 |
| その他業務粗利益 | 226 | 146 | 164 | +18 |
| 営業経費 | △1,758 | △1,756 | △1,776 | △19 |
| 株式等関係損益 | △176 | 200 | 234 | +33 |
| 与信費用*3 | 53 | 139 | 239 | +99 |
| その他損益等 | 51 | 50 | 58 | +8 |
| 税金等調整前中間純利益 | 1,347 | 1,758 | 1,861 | +102 |
| 税金費用ほか | 409 | △538 | △534 | +3 |
| 税引後中間純利益 | 1,756 | 1,220 | 1,327 | +106 |

資金利益は、貸出金残高が前年同期比で1.3%増加した一方で利回りが低下したため減少しました。

役員取引等利益は、好調な保険販売や不動産業務などにより増加しました。

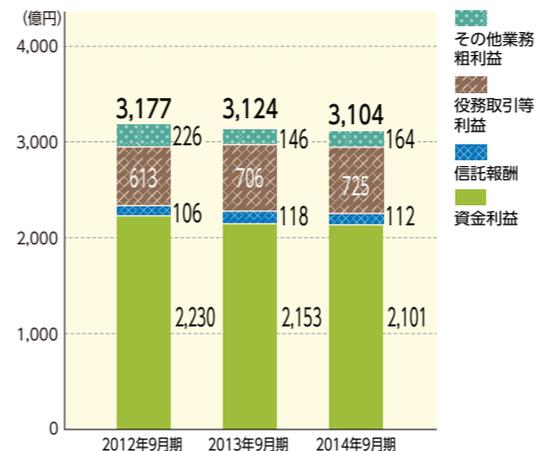
株式等関係損益は、保有株式の売却益の計上などにより、増益となりました。

与信費用は、新規発生が低水準であったことに加え、一般貸倒引当金が引き続き戻入となったことなどから、前年同期比99億円の増益要因となりました。

用語解説

- *1 資金利益 貸出や有価証券運用などによる資金運用収益から、預金利息などの資金調達費用を差し引いた収支のことです。
- *2 役員取引等利益 投資信託の販売やお振込、不動産仲介など、サービス提供の対価としてお客さまから頂く手数料収入のことです。
- *3 与信費用 貸出金などに対する貸倒引当金の計上や償却処理に要した費用のことです。貸倒引当金の戻入や償却債権取立益をネットした計数を表示しています。
- *4 営業経費率 連結粗利益に占める営業経費の比率のことです。効率性を示す指標の一つで、比率が低いほど効率的であることを示します。

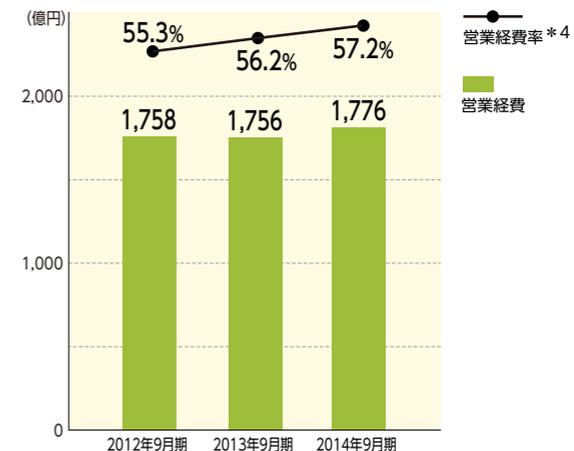
連結粗利益



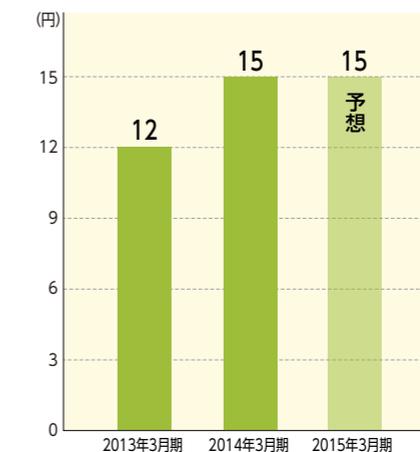
税引後中間純利益



営業経費



普通株式1株当たり年間配当金



経営管理情報
 リポート
 リそなグループの業績
 頼りになりますね
 財務諸表(連結)
 3行の概況
 株式の状況
 株式事務のご案内
 個人情報のお取扱い



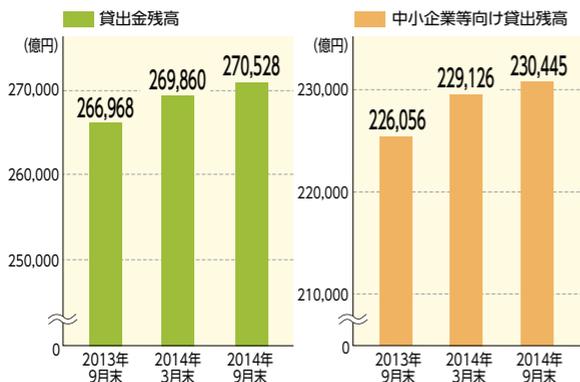
りそなグループの業績 2014年9月中間期

■ 資産・負債の状況

貸出金残高は増加基調が継続、自己資本比率も十分な水準を維持しています。

貸出金残高 (傘下銀行合算)

貸出金残高は、前年同期比で約1.3%の増加となりました。



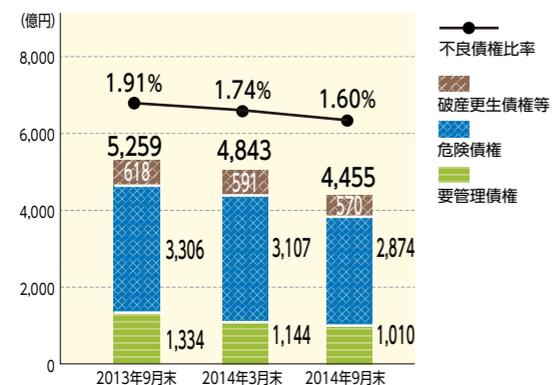
預金残高 (傘下銀行合算)

個人預金は、増加の基調を維持しています。



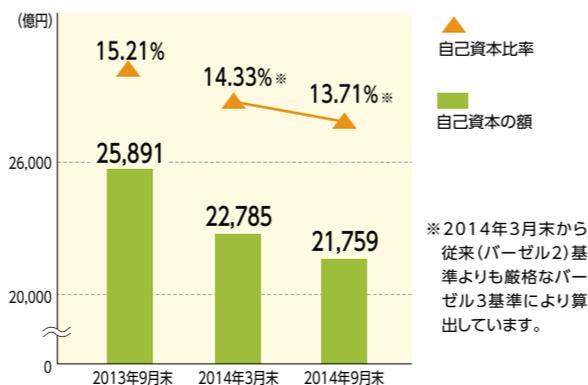
不良債権および不良債権比率 (傘下銀行合算・金融再生法基準)

不良債権比率は1.60%に低下しました。



自己資本比率 (連結)

自己資本比率は13.71%と、公的資金完済プランを進めつつも、十分な水準を維持しています。



■ 主要ビジネス

個人のお客さまの生活設計サポート、法人のお客さまの経営課題解決に「オールりそな」で取り組んでいます。

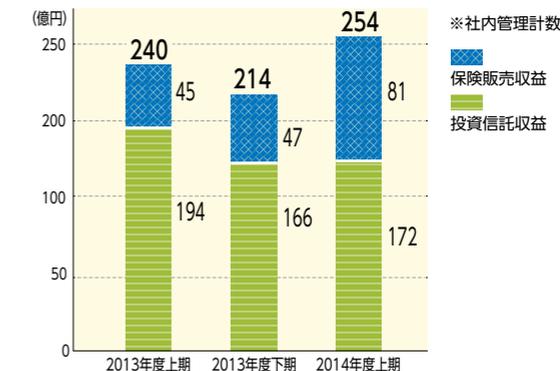
住宅ローン (傘下銀行合算)

住宅ローン残高は順調に増加しました。



金融商品販売 (傘下銀行合算)

保険販売が新商品取扱開始などにより好調に推移しました。



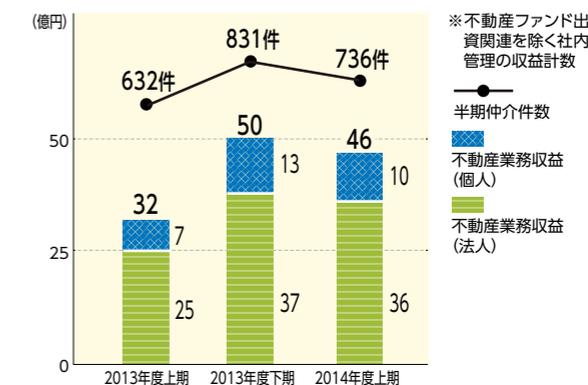
資産承継ビジネス (りそな銀行)

きょういく信託は、上期も二千件を超えるご利用をいただき、資産承継信託等のご利用件数も、前年同期比で増加しました。



不動産業務 (りそな銀行)

法人のお客さま、個人のお客さまの多様なニーズにお応えし、仲介件数、収益が前年同期比で増加しました。



3行の概況
株式の状況
個人情報のお取り扱い
財務諸表(連結)
りそなグループの業績
りそな



頼りになりますね“リそな”

「ネット」でも「リアル」でもいつでもどこでもサポート

インターネットバンキングやテレフォンバンキングで
24時間365日、各種お取引やご相談をお受けしています。

**24時間
365日**受付

Resona Group
my gate
Webコミュニケーション

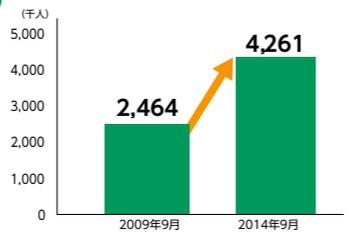


新しいWebコミュニケーションサービス「マイゲート」で
24時間365日、各種お取引やご相談をお受けしています。
(メンテナンス等でご利用いただけない時間があります)



インターネットバンキング

インターネットバンキング
ご契約者数
2倍
5年間で約
に増加しました。



ネット



カスタマーセンターでの24時間有人対応は
5大銀行グループでりそなだけ!
(りそな銀行、埼玉りそな銀行)

ネットとリアルの融合
|| オムニチャネルの実現



リアル

お客様の利便性を追求し、営業時間を拡大。
年中無休の店舗も続々登場しています。

平日**17時**まで営業

りそな銀行、埼玉りそな銀行は平日17時まで営業しています。



年中無休

週7日営業



▶ 埼玉りそな銀行 セブンデイズプラザ おおみや*1



▲ りそな銀行 セブンデイズプラザ あべのハルカス*2



▲ 近畿大阪銀行 うめだプラザ nanoka*1

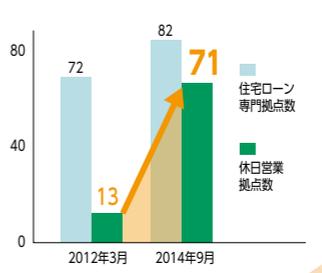
※1.年末年始、GWは除きます。 ※2.あべのハルカス休館日は除きます。

ATMネットワーク (2014年9月末現在)

りそなグループのATM
(サークルK、サンクスにあるバンクタイムを含む)
8,138 台
提携コンビニATM
43,927 台



住宅ローン専門拠点



休日営業拠点は
2年間で、
5倍
以上に
増加しました。

経営理念
「お客様に
笑顔のサービス」
「お客様に
笑顔のサービス」
りそなグループの業績
「頼りになりますね」
3行の概況
株式の状況
個人情報のお取り扱い
株式事務のご案内



頼りになりますね“りそな”

りそな独自の商品・サービスをご提供

りそなだけの便利なサービス

りそな限定 =Only 1 の商品、サービス

(国内銀行中)



りそなVisaデビットカード(JMB)

Visaデビットでの
JALマイレージ提携はりそなだけ!

- ①即時引落:利用と同時に口座から引落し
- ②Visa加盟店で利用可能:国内はもちろん海外でも利用可能
- ③世界210万台のATMが利用可能
- ④JALマイルがたまる:利用額に応じマイル蓄積 (200円=1マイル)

団信革命(特定状態保障特約付住宅ローン)

りそなだけの独占販売
りそな銀行、埼玉りそな銀行のみで
取扱中 (2014年11月現在)

3大疾病はもちろん
「16の特定状態」「所定の要介護状態」
に該当するときもローン残高が0円に



遺言信託

「オプションコース」や
「パッケージ型」をご提供
できるのは、りそなだけ!

オプションコース:初期費用を負担いただくことでランニングコストや信託報酬が軽減される商品
パッケージ型:子供がいらっしゃらない夫婦や単身の方のニーズに適した商品
割安で遺言信託の契約が可能

自社株承継信託

自社株承継信託の
東京信用保証協会との
提携はりそなだけ!

自社株承継信託の契約を条件に
株式取得資金の融資が可能



信託・不動産を強みとするハイブリッドな金融機関

りそなグループは、商業銀行業務・
信託業務・不動産業務を
3本柱とする、他に例を見ない
ハイブリッドな金融機関です。



グループ構成



(2014年9月末現在)

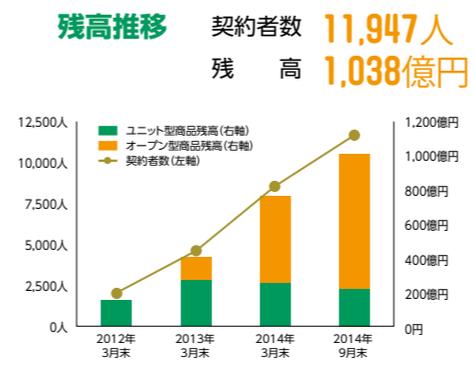
商業銀行が信託機能を持つ強み

| | |
|---------------------|----------------|
| 商業銀行の リテール基盤 | フルラインの 信託機能 |
| 約1,300万の 個人のお客さま | 相続・事業承継 |
| 約43万の 法人のお客さま | 不動産仲介 |
| 592の 有人店舗 | 遺言信託 |
| | 企業年金 |

「信託のチカラ」の残高

1,000億円突破

実績配当型金銭信託
「信託のチカラ」の残高が9月時点で
1,000億円を突破しました。



多彩な商品・サービスをご用意

- きょういく信託
- マイトラスト 未来安心図
- 遺言信託
- 不動産仲介 コンサルティング



経営理念

エンパワメント

りそなグループの業績

「りそな」頼りになりますね

財務諸表(連結)

3行の概況
株式の状況

株式事務のご案内
個人情報のお取り扱い



頼りになりますね“りそな”

中小企業の販路拡大や海外進出をサポート

中小企業の成長をあらゆる面からサポート

りそなグループは、従来からの金融取引だけでなく、各種イベントの開催等を通じ、中小企業のみなさまのさらなる成長のお手伝いをしています。

今回で
9回目

りそなDEモニター会

日本一厳しいと言われる大阪の女性モニターの意見を、お取引先の商品開発に活かしていただくイベントです。
(りそな銀行・近畿大阪銀行)



延べ

8,709件の応募

中小企業優秀新技術・新製品賞の贈賞

中小企業庁後援のもと、日刊工業新聞社と共催で毎年実施しています。多数のご応募の中から優れた新技術・新製品に対し「中小企業庁長官賞」などを選定します。
(りそな中小企業振興財団)



今回で5回目の開催

2009年2月から6回の開催

630社の
出展

農と食の展示商談会

埼玉県と連携して開催され、多様なジャンルのバイヤーが来場し、新商品開発や新しい販売チャネルの開拓に役立つイベントです。
(埼玉りそな銀行)



延べ **539社**のご参加

ネットワーク商談会

お取引先の新たな商流を創り出し、地域経済活性化のお役に立つことを目的とした企画です。
(近畿大阪銀行・埼玉りそな銀行)

海外進出支援

13ヶ国・地域にて
お客さまの海外展開をサポート

New!

- 2014年6月 カンボジア・パブリック銀行と提携
- 2014年11月 ミャンマー・アベックス銀行と提携
- 2014年度中 ホーチミン駐在員事務所開設予定

りそなグループの海外駐在員事務所

(担当国・地域)

- 上海駐在員事務所
上海、中国(華南以外)
- 香港駐在員事務所
香港、中国(華南地域)、台湾
- バンコック駐在員事務所
タイ、ベトナム、ミャンマー、カンボジア、ラオス
- シンガポール駐在員事務所
シンガポール、マレーシア、インド、フィリピン

りそなブルダニア銀行

1958年の開業以来、インドネシアにおける日系銀行のパイオニアとして、日本国内と同様の金融サービスをご提供。

アジアにおける主な提携金融機関

有力金融機関との業務提携により万全のサポート体制を実現。

| 主な提携銀行 | 国・地域 | 特色 |
|---------------|-----------|--|
| 東亜銀行 | 中国 香港 | 香港最大の独立系地場銀行。中国本土でも外資系では最大のネットワーク。 |
| バンコック銀行 | タイ ベトナム | タイ最大の民間商業銀行。ジャパンデスクを配置し、多くの進出日系企業が同行と取引。 |
| パブリック銀行 | マレーシア ラオス | 資産規模でマレーシア第3位の民間商業銀行。カンボジア、ラオスにおいても強いプレゼンスを持つ。 |
| リサール商業銀行 | フィリピン | 民間ではフィリピン第4位の商業銀行。ジャパンデスクを配置し、多くの進出日系企業が同行と取引。 |
| カンボジア・パブリック銀行 | カンボジア | カンボジア第3位の商業銀行。マレーシアのパブリック銀行の子会社。 |
| ミャンマー・アベックス銀行 | ミャンマー | ミャンマー第4位の商業銀行。先進的な経営に定評あり。 |





頼りになりますね“りそな”

持続可能な社会づくりへの貢献

CSRへの取り組み

りそなグループでは、従業員一人ひとりが日常業務を通じてCSR活動を実践している他、自発的なボランティア活動にも積極的に取り組んでいます。

次世代育成のために

りそなキッズマネーアカデミー

10周年 anniversary

卒業生は20,000名を超えました!

10周年を迎えた今年の「りそなキッズマネーアカデミー2014」は、全国各地で165回開催、過去最高となる約3,500名の小学生が参加。今年も、お取引先企業や自治体とのコラボレーションなど、地域一体となって子どもたちのたくましく生きる力を育むプログラムが多く開催されました。



りそなキッズマネーアカデミーの歴史



- ボランティア社員によって 東京・大阪・埼玉の3箇所で開催
- クイズやゲームをパッケージ化 ● 全国開催に発展
- コラボレーション企画が実現
- 低学年向けカリキュラムスタート
- 公式Facebook開設

環境保全のために

「りそなの絆」被災地植樹プロジェクト

子どもたちが育てた苗木約600本を植樹しました。

2014年6月28、29日に植樹ボランティアツアーを開催し、東北の苗木、約600本を宮城県岩沼市「千年希望の丘」に植樹しました。このプロジェクトは、東日本大震災で大きな被害を受けた

東北地方の森林や海岸防災林を再生する活動で、全国の子どもたちに苗木を育ててもらい、東北に植樹する取り組みです。ボランティアツアーでは、植樹の他、現地の視察も実施しました。

6/28(土):「復興状況説明会」および被災地の見学



岩沼市の職員の方に復興状況を説明いただきました。



6/29(日):「千年希望の丘」交流植樹会



80名を超えるりそなグループのボランティアが参加しました。



地域社会への貢献

点字カレンダー

1982年以降毎年、点字カレンダーを制作・贈呈しています。

りそなグループでは視覚障がいがある方の生活利便を図るために、1982年以降毎年、点字カレンダーを制作し、全国各地の視覚障がい者福祉協会や特別支援学校などへ贈呈しています。

2015年のカレンダーにはキャラクター「りそな」を取り入れ、月々の行事を点字で表現し、季節を感じていただけるデザインとしました。





財務諸表 | 連結

※金額については単位未満を切捨て表示しております

中間連結貸借対照表

(単位：億円)

2014年3月31日現在 2014年9月30日現在

| 資産の部 | 2014年3月31日現在 | 2014年9月30日現在 |
|---------------|----------------|----------------|
| 現金預け金 | 64,718 | 71,276 |
| コールローン及び買入手形 | 1,543 | 1,673 |
| 買入金銭債権 | 3,326 | 3,134 |
| 特定取引資産 | 6,165 | 5,762 |
| 金銭の信託 | 1 | 1 |
| 有価証券 | 86,984 | 81,734 |
| 貸出金 | 267,016 | 267,697 |
| 外国為替 | 727 | 708 |
| その他資産 | 9,347 | 12,428 |
| 有形固定資産 | 3,078 | 3,084 |
| 無形固定資産 | 404 | 385 |
| 退職給付に係る資産 | 245 | 301 |
| 繰延税金資産 | 1,289 | 802 |
| 支払承諾見返 | 4,905 | 4,898 |
| 貸倒引当金 | △ 2,561 | △ 2,237 |
| 投資損失引当金 | △ 1 | △ 0 |
| 資産の部合計 | 447,194 | 451,652 |

| 負債の部 | 2014年3月31日現在 | 2014年9月30日現在 |
|---------------|----------------|----------------|
| 預金 | 357,459 | 355,778 |
| 譲渡性預金 | 19,498 | 25,398 |
| コールマネー及び売渡手形 | 8,547 | 10,431 |
| 売現先勘定 | 389 | 609 |
| 債券貸借取引受入担保金 | 498 | 1,558 |
| 特定取引負債 | 3,055 | 3,356 |
| 借入金 | 10,817 | 7,152 |
| 外国為替 | 11 | 36 |
| 社債 | 6,964 | 6,635 |
| 信託勘定借 | 5,338 | 5,444 |
| その他負債 | 9,028 | 10,978 |
| 賞与引当金 | 180 | 93 |
| 退職給付に係る負債 | 269 | 196 |
| その他の引当金 | 424 | 352 |
| 繰延税金負債 | 2 | 3 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 236 | 236 |
| 支払承諾 | 4,905 | 4,898 |
| 負債の部合計 | 427,630 | 433,163 |

| 純資産の部 | 2014年3月31日現在 | 2014年9月30日現在 |
|----------------------|----------------|----------------|
| 資本金 | 504 | 504 |
| 資本剰余金 | 4,092 | 1,423 |
| 利益剰余金 | 11,697 | 12,570 |
| 自己株式 | △ 858 | △ 855 |
| 株主資本合計 | 15,436 | 13,642 |
| その他有価証券評価差額金 | 2,441 | 3,064 |
| 繰延ヘッジ損益 | 281 | 334 |
| 土地再評価差額金 | 412 | 412 |
| 為替換算調整勘定 | △ 40 | △ 41 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △ 359 | △ 350 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,734 | 3,420 |
| 少数株主持分 | 1,392 | 1,426 |
| 純資産の部合計 | 19,564 | 18,489 |
| 負債及び純資産の部合計 | 447,194 | 451,652 |

中間連結損益計算書

(単位：億円)

自 2013年4月 1日 自 2014年4月 1日
至 2013年9月30日 至 2014年9月30日

| | 自 2013年4月 1日 至 2013年9月30日 | 自 2014年4月 1日 至 2014年9月30日 |
|---------------|---------------------------|---------------------------|
| 経常収益 | 4,292 | 4,395 |
| 資金運用収益 | 2,380 | 2,303 |
| (うち貸出金利息) | (1,988) | (1,877) |
| (うち有価証券利息配当金) | (275) | (278) |
| 信託報酬 | 118 | 112 |
| 役員取引等収益 | 948 | 964 |
| 特定取引収益 | 5 | 26 |
| その他業務収益 | 221 | 181 |
| その他経常収益 | 616 | 806 |
| 経常費用 | 2,548 | 2,518 |
| 資金調達費用 | 226 | 202 |
| (うち預金利息) | (102) | (76) |
| 役員取引等費用 | 242 | 239 |
| 特定取引費用 | 33 | 5 |
| その他業務費用 | 47 | 37 |
| 営業経費 | 1,756 | 1,776 |
| その他経常費用 | 240 | 257 |
| 経常利益 | 1,743 | 1,877 |

中間連結株主資本等変動計算書

(単位：億円)

自 2014年4月 1日 自 2014年9月30日

| | 株主資本 | | | | | その他の包括利益累計額 | | | | | | 少数株主持分 | 純資産合計 |
|--------------------------|------|--------|--------|--------|--------|--------------|---------|----------|----------|--------------|---------------|--------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 土地再評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 504 | 4,092 | 11,697 | △858 | 15,436 | 2,441 | 281 | 412 | △40 | △359 | 2,734 | 1,392 | 19,564 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | 14 | | 14 | | | | | | | | 14 |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 504 | 4,092 | 11,712 | △858 | 15,451 | 2,441 | 281 | 412 | △40 | △359 | 2,734 | 1,392 | 19,578 |
| 当中間期変動額 | | | | | | | | | | | | | |
| 剰余金(その他資本剰余金)の配当 | | △320 | | | △320 | | | | | | | | △320 |
| 剰余金の配当 | | | △469 | | △469 | | | | | | | | △469 |
| 中間純利益 | | | 1,327 | | 1,327 | | | | | | | | 1,327 |
| 自己株式の取得 | | | | △2,349 | △2,349 | | | | | | | | △2,349 |
| 自己株式の処分 | | △0 | | 2 | 2 | | | | | | | | 2 |
| 自己株式の消却 | | △2,349 | | 2,349 | — | | | | | | | | — |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額) | | | | | | 622 | 53 | — | △0 | 9 | 685 | 34 | 719 |
| 当中間期変動額合計 | — | △2,669 | 857 | 2 | △1,809 | 622 | 53 | — | △0 | 9 | 685 | 34 | △1,089 |
| 当中間期末残高 | 504 | 1,423 | 12,570 | △855 | 13,642 | 3,064 | 334 | 412 | △41 | △350 | 3,420 | 1,426 | 18,489 |

| | 自 2013年4月 1日 至 2013年9月30日 | 自 2014年4月 1日 至 2014年9月30日 |
|-----------------------|---------------------------|---------------------------|
| 特別利益 | 31 | 0 |
| 固定資産処分益 | 31 | 0 |
| 特別損失 | 16 | 16 |
| 固定資産処分損 | 6 | 6 |
| 減損損失 | 9 | 9 |
| 税金等調整前中間純利益 | 1,758 | 1,861 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 302 | 347 |
| 法人税等調整額 | 192 | 161 |
| 法人税等合計 | 494 | 509 |
| 少数株主損益調整前中間純利益 | 1,264 | 1,352 |
| 少数株主利益 | 43 | 25 |
| 中間純利益 | 1,220 | 1,327 |

経営管理情報
トピックス
リそのなグループの業績
頼りになります
財務諸表(連結)
3行の概況
株式の状況
株主事務のご案内
個人情報のお取り扱い



3行の概況

※金額については単位未満を切捨て表示しております

りそな銀行

総資金量・総貸出金の推移 (単体)

| | 2013年9月期 | 2014年3月期 | 2014年9月期 |
|------|----------|----------|----------|
| 総資金量 | 332,800 | 341,165 | 341,333 |
| 総貸出金 | 175,150 | 177,378 | 178,122 |

※総資金量は、預金、譲渡性預金、金銭信託、年金信託および財産形成給付信託の合算です。
※総貸出金は、銀行勘定、信託勘定の合算です。

損益の推移 (単体)

| | 2013年9月期 | 2014年3月期 | 2014年9月期 |
|----------------------|----------|----------|----------|
| 業務粗利益 | 1,890 | 3,680 | 1,915 |
| 経費 | △ 1,102 | △ 2,190 | △ 1,089 |
| 実勢業務純益 ^{*1} | 788 | 1,489 | 825 |
| 与信費用 | 152 | 315 | 211 |
| 中間(当期)純利益 | 836 | 1,534 | 962 |

連結自己資本比率の推移 (国内基準)

| | 2013年9月期 | 2014年3月期 | 2014年9月期 |
|-------------------------|----------|----------|----------|
| 自己資本の額 | 17,772 | 15,475 | 16,504 |
| リスク・アセット等 ^{*2} | 121,973 | 115,724 | 115,556 |
| 自己資本比率(%) | 14.57 | 13.37 | 14.28 |

近畿大阪銀行

預金・貸出金の推移 (単体)

| | 2013年9月期 | 2014年3月期 | 2014年9月期 |
|--------------|----------|----------|----------|
| 預金(譲渡性預金を含む) | 34,723 | 33,919 | 34,386 |
| 貸出金 | 25,564 | 25,557 | 24,895 |

損益の推移 (単体)

| | 2013年9月期 | 2014年3月期 | 2014年9月期 |
|----------------------|----------|----------|----------|
| 業務粗利益 | 278 | 517 | 257 |
| 経費 | △ 193 | △ 381 | △ 187 |
| 実勢業務純益 ^{*1} | 84 | 136 | 69 |
| 与信費用 | △ 12 | △ 32 | 16 |
| 中間(当期)純利益 | 42 | 59 | 64 |

連結自己資本比率の推移 (国内基準)

| | 2013年9月期 | 2014年3月期 | 2014年9月期 |
|-------------------------|----------|----------|----------|
| 自己資本の額 | 1,758 | 1,768 | 1,526 |
| リスク・アセット等 ^{*3} | 12,672 | 13,385 | 13,564 |
| 自己資本比率(%) | 13.87 | 13.20 | 11.25 |

埼玉りそな銀行

預金・貸出金の推移 (単体)

| | 2013年9月期 | 2014年3月期 | 2014年9月期 |
|--------------|----------|----------|----------|
| 預金(譲渡性預金を含む) | 111,178 | 114,449 | 114,453 |
| 貸出金 | 66,252 | 66,924 | 67,510 |

損益の推移 (単体)

| | 2013年9月期 | 2014年3月期 | 2014年9月期 |
|----------------------|----------|----------|----------|
| 業務粗利益 | 690 | 1,355 | 681 |
| 経費 | △ 381 | △ 754 | △ 381 |
| 実勢業務純益 ^{*1} | 308 | 600 | 300 |
| 与信費用 | 7 | △ 11 | 3 |
| 中間(当期)純利益 | 200 | 374 | 195 |

単体自己資本比率の推移 (国内基準)

| | 2013年9月期 | 2014年3月期 | 2014年9月期 |
|-------------------------|----------|----------|----------|
| 自己資本の額 | 4,477 | 4,355 | 4,491 |
| リスク・アセット等 ^{*2} | 34,210 | 32,484 | 33,005 |
| 自己資本比率(%) | 13.08 | 13.40 | 13.60 |

〔ご参考〕傘下銀行(単体)の合算

傘下銀行合算の実勢業務純益は、保険販売や不動産業務等の役務取引等利益が資金利益の減少を補完したこと、ローコスト運営を徹底したこと等により、前年同期比13億円増加し、1,194億円となりました。中間純利益は、与信費用が減少(戻入益が増加)したこと、株式等関係損益が増加したこと等により、前年同期比143億円増加し、1,222億円となりました。

損益の推移 (傘下銀行合算)

| | 2013年9月期 | 2014年3月期 | 2014年9月期 |
|----------------------|----------|----------|----------|
| 業務粗利益 | 2,858 | 5,552 | 2,853 |
| 経費 | △ 1,677 | △ 3,326 | △ 1,658 |
| 実勢業務純益 ^{*1} | 1,181 | 2,226 | 1,194 |
| 与信費用 | 148 | 271 | 231 |
| 中間(当期)純利益 | 1,079 | 1,968 | 1,222 |

(※1) 実勢業務純益は、業務粗利益(信託勘定に係る不良債権処理額を除く)から人件費等の経費を差し引いたものであり、銀行本来の業務活動による利益を表しております。
(※2) リスク・アセット等のうち、信用リスク・アセットの計測手法は、2013年9月期は基礎的内部格付手法(F-IRB)、2014年3月期より先進的内部格付手法(A-IRB)です。
(※3) リスク・アセット等のうち、信用リスク・アセットの計測手法は、基礎的内部格付手法(F-IRB)です。

株式の状況

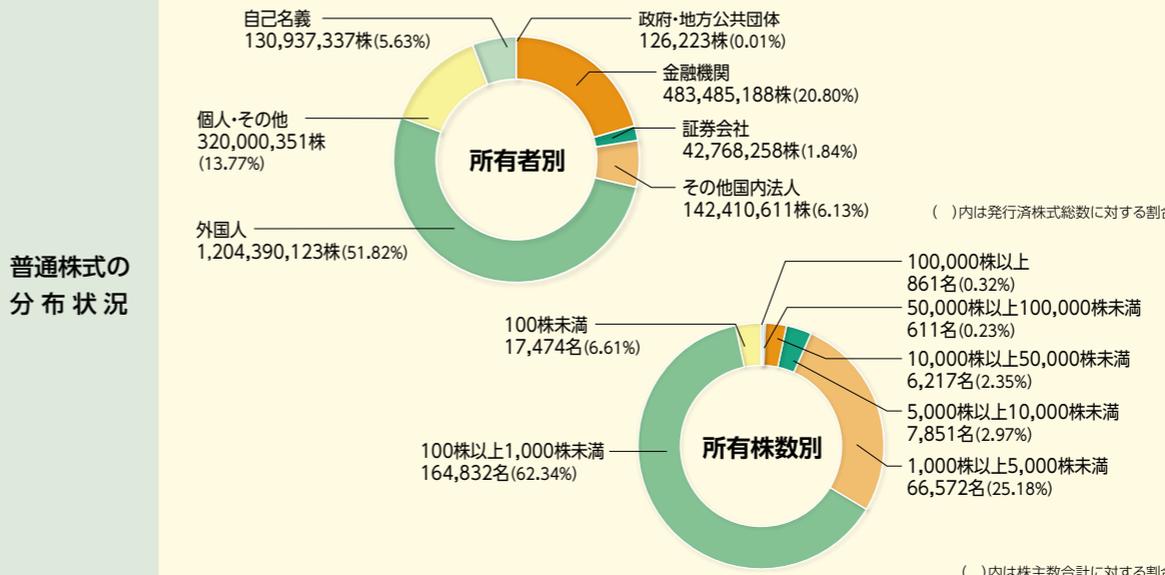
2014年9月30日現在

発行済株式総数 2,353,638,091株 (うち普通株式2,324,118,091株、優先株式29,520,000株)

株主数 普通株式 264,418名

| 大株主 (上位10位) | 普通株式 | 株主の氏名または名称 | | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|-------------|------|---|---------|---------|---------|
| | | 株主の氏名または名称 | 持株数(千株) | | |
| | | 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 99,817 | 4.29 | |
| | | 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 84,468 | 3.63 | |
| | | GOLDMAN, SACHS & CO.REG | 73,077 | 3.14 | |
| | | 第一生命保険株式会社 | 55,241 | 2.37 | |
| | | CACEIS BANK FRANCE / CREDIT AGRICOLE SA | 39,483 | 1.69 | |
| | | STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225 | 37,733 | 1.62 | |
| | | 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4) | 30,198 | 1.29 | |
| | | MELLON BANK, N.A. AS AGENT FOR ITS CLIENT MELLON OMNIBUS US PENSION | 30,110 | 1.29 | |
| | | JP MORGAN CHASE BANK 380055 | 28,595 | 1.23 | |
| | | THE BANK OF NEW YORK, TREATY JASDEC ACCOUNT | 27,223 | 1.17 | |

※自己株式を除く



3行の概況
株式の状況
個人情報のお取り扱い

財務諸表(連結)

3行の概況
株式の状況

個人情報のお取り扱い



株式事務のご案内

| | |
|--------|--|
| 決算期 | 毎年3月31日に決算を行います。 |
| 定時株主総会 | 基準日を3月31日とし、毎年6月に開催いたします。 |
| 配当金 | 基準日は3月31日および中間配当金の支払を行うときは9月30日といたします。 なお、当期の配当につきましては、昨年同様、期末にお支払する予定でありますので、中間配当につきましては、見送りとさせていただきます。 |
| 公告方法 | 電子公告により当社ホームページに掲載いたします。 ただし、やむを得ない事由により電子公告できない場合は、日本経済新聞に掲載します。 *公告掲載の当社ホームページアドレス(決算公告も含む) http://www.resona-gr.co.jp/holdings/ir/koukoku/ |
| 単元株式数 | 単元株式数は100株です。 |

■ 株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会の内容に応じて、下記のいずれかの窓口にお問い合わせください。

| お手続き、ご照会の内容 | お問い合わせ先 | | |
|--|------------------|---|---|
| ●郵便物の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関する照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ | 株主名簿管理人 | 三井住友信託銀行株式会社 | |
| | 郵便物の送付先 | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 | |
| | 電話番号 | 0120-782-031 | |
| | インターネットホームページURL | http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html | |
| ●上記以外のお手続き、ご照会等は、右記のいずれかの窓口にお問い合わせください。 | 証券会社に口座をお持ちの場合 | 証券会社 口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。 | |
| | 特別口座*の場合 | 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| | | 郵便物の送付先 | 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 |
| | | 電話番号 | 0120-094-777 |

※特別口座について 株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、三菱UFJ信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。

上記株主名簿管理人とは郵便物の送付先、電話番号等が異なりますのでご注意ください。

株主さまの個人情報のお取り扱いについて

株式会社りそなホールディングス(以下、「当社」といいます)は、会社法に基づく株主さまの権利の行使、会社法等関係法令に定める当社の義務の履行および当社の業務の円滑な遂行のため、株主さまの個人情報(氏名・住所・保有株式数等)を利用させていただいております。

当社は、これらの株主さまの個人情報につきまして、適切な保護を重大な責務と認識し、個人情報の保護に関する法律、会社法、その他の関係法令および当社の諸規則を遵守し、適切な保護と利用に努めます。

1. 株主さまの個人情報の利用目的について

当社は、直接または株主名簿管理人を通じて株主さまの個人情報を取得いたしますが、これらの株主さまの個人情報を、以下の目的に利用させていただきます。

- (1) 会社法に基づく権利の行使・義務の履行のため
- (2) 株主さまとしての地位に対し、当社および当社子会社(下記2.(1)記載の会社をいいます。以下同様です。)から各種便宜を供与するため

- (3) 株主さまと当社および当社子会社との双方の関係を円滑にする各種の方策を実施する(当該方策の実施を目的として、株主さまの個人情報を当社子会社に提供することを含む)ため
- (4) 各種法令に基づく所定の基準による株主さまのデータを作成するなどの株主さまの管理のため

2. 第三者提供の制限および事前の同意なく当社子会社に情報を提供する場合について

当社は、法令で認められている場合を除いて、原則として、あらかじめ株主さまの同意を得ることなく株主さまの個人情報を第三者に提供いたしません。

ただし、上記1. 記載の利用目的の達成に必要な範囲内において、個人情報保護法第23条第2項に基づき、株主さまご本人の求めに応じて提供を停止することを前提として、株主さまの同意をいただくことなく、以下のとおり、株主さまの個人情報を当社子会社に対して提供することがあります。なお、当社子会社に対する個人情報の提供の停止をご希望される場合は、下記3. 記載のご連絡先までご連絡ください。

- (1) 当社が株主さまの個人情報を提供する当社子会社
 - 株式会社りそな銀行
 - 株式会社埼玉りそな銀行
 - 株式会社近畿大阪銀行
- (2) 提供する個人データの項目
 - 氏名・住所
 - 保有株式数
 - 株主番号および登録時期に関する情報
- (3) 提供する手段または方法
 - 電子媒体により交付する方法

3. 株主さまの個人情報の提供停止についてのご連絡先

電話番号 東京 **03-6704-3111**(代表)
大阪 **06-6268-7400**(代表)
受付時間 9:00~17:00 (銀行休業日を除く)

なお、株主さまから過去に個人情報の提供の停止をご希望される旨のご連絡を頂いた場合には、当社はご連絡を頂いた株主さまの個人情報を当社子会社に対して提供することはありませんので、再度ご連絡を頂く必要はございません。